

信頼できるニュースを みんなで つくろう。

つくる、確かめる、支える、「手がかり」を体験する

SNS や動画サイトにおける偽・誤情報やヘイトスピーチの拡散が民主主義社会を揺るがしており、選挙や災害時には信頼性の高いニュースの重要性が高まっています。

誰もが SNS で発信できる時代、報道機関だけではなく、私たち一人ひとりもニュースの担い手です。ニュースを批判的に読み解くだけでなく、ニュースをつくり、検証し、支えるリテラシーが求められています。

本イベントは、ワークショップやデモを通して、信頼性の高いニュースが循環する「**ニュース生態系**」を実現するための手がかりを体験します。



ワークショップで体験する

- 1 AIで偽ニュースをつくってみよう
- 2 ゲームで学ぶ偽・誤情報対策
- 3 SNSの投稿を検証してみよう
- 4 広告審査員になってルールを考えよう



偽ニュースでAIの仕組みを学ぶ授業を体験。



ゲーム体験と振り返りで、誤情報の見分け方を学ぼう！



情報源を調べて、問題点を考え、コミュニティノートを書こう。



SNS 広告の審査員になって、記事の審査体験をしよう。

デモで体験する

- 1 SNSの投稿から災害情報を判断しよう
- 2 こたつ記事から怪しい情報源を探せ！
- 3 あれ、政治ニュースが読めるぞ…！
- 4 AIでつくったニュースのコメントを見抜ける？



SNS の情報から、重要な災害情報を見つけ出す仕組みを体験。



情報源の信頼性をチェックして、怪しい情報源を見抜こう。



難しい政治ニュースが、読みやすくなる仕組みを体験しよう。



これは人間が書いたコメント？それとも AI が書いたコメント？

3日間
開催

2026年

8月21日(金)～23日(日)

ニュースパーク (日本新聞博物館)

みなとみらい線「日本大通り駅」徒歩約1分
JR・市営地下鉄「関内駅」徒歩約10分



イベント参加無料

別途、博物館の入館料が必要です



事前知識は不要！
初めての人も安心して
参加できます。



中高生から大人まで！
中高生から社会人まで
どなたでもご参加いただけます。

信頼できるニュースをみんなで作ろう。

つくる、確かめる、支える、「手がかかり」を体験する

2026年
8月21日(金)~23日(日)

1 | ワークショップ

※ワークショップは、各回定員がございます。参加希望の場合は、必ず下記 QR コードからお申し込みください。

1 AIで偽ニュースをつくってみよう

対象：小学校教員 / 教育関係者

8/22 (土)
11:00~12:30



体験できること

ソフトバンク開発の AI を使い、偽ニュースをつくることで AI を学ぶ小学生向け授業を体験できます。

学べること

AI の仕組みや課題といったリテラシーを学ぶ授業の進め方を知ることができます。

2 ゲームで学ぶ偽・誤情報対策

対象：高校生以上（中学生は大人同伴可）

8/22 (土)
13:30~15:00



体験できること

チームで偽・誤情報に関するパズルを解き脱出ゲームに挑戦、たまれそうなお友達を救いましょう。

学べること

ゲーム体験と振り返りで、誤情報との向き合い方を学ぼう。

3 SNSの投稿を検証してみよう

対象：高校生以上（中学生は大人同伴可）

8/23 (日)
11:00~12:30



体験できること

SNS の投稿を検証し、根拠を整理して、コミュニティノートを実際に書いてみます。

学べること

客観性のプロセスと、対話の重要性を学ぶことができます。

4 広告審査員になってルールを考えよう

対象：高校生以上（中学生は大人同伴可）

8/23 (日)
13:30~15:00



体験できること

デジタル広告の審査体験を通じて、詐欺広告を見破ってみよう！

学べること

なぜ詐欺広告がなかなかなくなるのか。その理由が見えてきます。

2 | 主なデモ・展示

※デモ／展示についてはお申し込み不要で、自由にご覧いただけます。

SNS の投稿から災害情報を判断しよう



体験できること

災害時の X 投稿画像を 1 枚ずつ「重要 / 不要」で判定した後に、AI による正解と比べることで「見落とした重要な投稿」が分かります。

学べること

膨大な情報の中から重要な被害情報の発見・判断の難しさを実感することができます。

こたつ記事から怪しい情報源を探せ！



体験できること

フェイクニュースの要因とされる「こたつ」記事を入力すると、記事の情報源が「ネット」「媒体」「取材」なのか、色分けで表示されます。

学べること

ニュース記事の中の「事実らしく見えて根拠のない推測や感想」に気づき、ニュース記事を鵜呑みにしない批判的読解の習慣が身につきます。

あれ、政治ニュースが読めるぞ…!?



体験できること

気になる記事を選んで原文と読み比べ、書き方に隠れた「印象の操作」を見抜いてみよう。

学べること

気になる記事を選んで原文と読み比べると、書き方次第で印象が変わることに気づき、自分なりに難しいニュースが読めるようになります。

AI でつくったニュースのコメントを見抜ける？



体験できること

AI が生成したコメントと人間が書いたコメントを見比べて、どちらかを当てるクイズに挑戦します。

学べること

AI と人間の文章の区別の難しさを体験し、ネット上のコメントや情報を冷静に読むことができます。

地方から信頼性を担保するローカルトラストブック（展示）



学べること

地域の発信者や団体が、自分たちの活動方針を守りながら、信頼性の高い情報やニュースを地域社会で循環する「ニュース生態系」を育むための手がかかりを示すことで、地域の信頼を支える情報発信のあり方について考えることができます。

3 | タイムテーブル

8/22 (土)

8/23 (日)

10:00 ニュースパーク（日本新聞博物館）開館

11:00~12:30 ①「AIで偽ニュースをつくってみよう」

11:00~12:30 ③「SNSの投稿を検証してみよう」

12:00~16:00
デモ／展示

12:00~16:00
デモ／展示

13:30~15:00 ②「ゲームで学ぶ偽・誤情報対策」

13:30~15:00 ④「広告審査員になってルールを考えよう」

17:00 ニュースパーク（日本新聞博物館）閉館／【最終入館は16:30まで】

4 | シンポジウム

「フェイクニュース時代のニュースを考える」

大学生のニュース信頼性判断調査を起点に、若者のニュース接触、報道現場、ニュースサービスの現在地を議論します。

8/21 (金) 13:00~15:00

法政大学社会学部 教授

藤代 裕之

日本経済新聞 編集委員

小柳 建彦

成蹊大学経営学部 教授

吉見 憲二

JX通信社 代表取締役

米重 克洋

5 | 会場アクセス



ニュースパーク（日本新聞博物館）

- * みなとみらい線「日本大通り駅」3番出口から直結
- * JR・市営地下鉄「関内駅」南口から徒歩約10分
- * 横浜スタジアム、中華街から徒歩圏内

入館料：一般 400 円、大学生 300 円、高校生 200 円、中学生以下無料

<ワークショップのお申し込み>



デモ／展示はご自由にご覧いただけますが、ワークショップの参加には申し込みが必要です。左記の QR コードよりお申し込みください。